

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマースクール／語学セミナー)

氏名	A さん		
所属	工 学部・大学院 機械数理工 学科・専攻		
留学先機関名	(国名： フランス)		
参加プログラム区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	H30 年 8 月 11 日－ H30 年 9 月 11 日	留学開始時学年	1 年次
奨学金 (奨学金を受給した場合)	☐ 奨学金受給無し ☐ JASSO 海外留学支援制度 ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☒ その他 (国際奨学事業)		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☐ 英語 ☐ 独語 ☒ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 (語)		
勉強方法	大学で使用しているテキストによる文法事項の確認 単語、特に動詞の確認 日常会話における頻出表現の確認		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよ その費用)	☐ プログラム費用 約 33 万円 ☐ 宿泊費用(寮／ホームステイ等) ー円(プログラム費用に併合) ☐ ビザ申請 0 円 ☐ 渡航費(☐ 片道 ☒ 往復) 約 14 万円 ☐ 海外旅行保険料 約 1 万円 ☐ 食費 約 3 万 6 千 円 ☐ その他 () 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	中国東方航空	手配	自分 ※エクスぺディア
移動経路 ※往路のみ	福岡空港→上海国際空港 →パリ空港→リヨン空港	到着 時刻	9 : 30 【※移動時間(約 22 時間)】
大学(寮)への 移動手段	☒ 大学手配の出迎え ☐ 知人出迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関(☐ バス ☐ 電車) ☐ その他 ()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	プログラムによる、送迎サービス有り (行き先が違う場合もあるため、確認は忘れずに)		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他()	ルーム メイト	☐ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	支払いは基本カードで行うが、使用量に関してはこまめに確認 ワイン等は持ち帰れる量に制限があるため、よく確認 携帯は、現地の格安 sim を利用すると便利		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	一日 4 時間、週 20 時間の授業 先生は、最初は英語とフランス語の両方を使用していたが、後半はすべてフランス語での授業となった 日本人のほか、中国人、スペイン人、オーストラリア人が参加 クラス内でのグループワークや、プレゼンテーション 授業外でのフィールドワークあり（市内を散策しながら、その歴史等をクイズ形式で学ぶ） 平日は、午前中又は午後のどちらかが授業に充てられ、そのほかの時間で市内の散策が可能 授業外の時間を現地の学生スタッフの考えたアクティビティに参加することも可能
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	学生スタッフだけでなく、殆どの人に英語は通じないと思って置く方が良い それでも、先生やスタッフの皆さんが親身になって手伝っていただき、大きな問題もなく、無事に終了
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	学生証は授業開始日に配布された また、この学生証のおかげでルーブル美術館に無料で入れたりする為、留学中はずっと持ち歩いていた。
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	土日はフリーだった為、現地で知り合った日本人の方々と一緒にパリまで出かけたり、一人でジュネーブ（スイス）まで出かけたりした 移動に関しては TGV を使用する事で問題なく移動できた。 放課後は現地の学生スタッフが毎回レクリエーションを用意しており、そこでの交流も楽しめた

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

フランス語の文法や発音、会話はもちろん、自らが積極的に行動を起こすことの大切さを学びました。

特に、たとえ完璧には会話できないとしても、積極的に周りとのコミュニケーションをとろうとする事の大切さを様々なところで学びました。

また、留学を通して日本の文化や両親、友人達からの助けなど、日本にいるときは当たり前だと思い、殆ど気にもかけなかったようなことが実はとても素晴らしいことであったと実感することができました。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

日本の扇子などは喜ばれますが、お菓子は人によっては口に合わない可能性があるため、十分に注意してください。

授業中、分からない単語があった際、辞書を使用して調べることはあまり良しとされておらず、先生がより分かりやすい単語に言い換えたり、ジェスチャーで教えてくれるため、分からない単語があったら、恥ずかしがらずに質問した方が良いです。

大学からグルノーブルの街まではトラムですぐに行くことができ、教会や博物館を無料で見学したり、市場で日本ではほとんど見かけない食べ物なども見る事ができるため、おすすめです。

留学を通しての感想

自分は、このプログラムに熊大生としては一人で参加したため、初めは大丈夫か不安だったのですが現地の先生方やホストファミリーの方々のほか、街を歩いている方々も基本的に親切でとても過ごしやすかったです。